

京都大学文学部卒業論文評価基準

平成 29 年 1 月 19 日文学研究科・文学部教授会決定

京都大学文学部では、学修の集大成として卒業論文を完成し、卒業年次に提出することを学生に課している。卒業論文の審査にあたっては、「学位授与の方針」を踏まえて、以下の基準に基づいて総合的に判断する。

- 1 当該専門領域に関する基礎的知識に基づき、また問題に関する深い理解の上で学術的意義のある研究主題が適切に設定されていること。
- 2 研究対象の分析と検討が着実に遂行され、議論が明晰に表現されていること。
- 3 結論が論理的に導き出されており、一定の独創性が認められること。
- 4 資料や先行研究が適切に取り扱われていること。